

令和4年度 史跡耳取遺跡整備検討委員会 会議次第

日時：令和4年12月22日（木）13:30～

場所：見附市役所 4階大会議室（中・西）

1. 開会

- ・市長挨拶
- ・委員会の説明、委員長、副委員長の選出

2. 報告

（1）令和3年度事業

- ・アクセス道路試掘確認調査の結果
- ・UAV 地形測量の成果
- ・耳取遺跡整備検討委員会の設置
- ・耳取遺跡市民講座の開催
- ・指定地の用地買収の進捗

（2）令和4年度事業

- ・史跡指定地境界標柱設置の成果

3. 協議

（1）令和5年度以降の史跡整備事業について

- ・耳取アクセス道路試掘確認調査
- ・指定地の用地買収を継続
- ・整備検討委員会の設置・開催を継続
- ・耳取遺跡ファンクラブ（仮称）の発足・活動

（2）令和6年度以降の事業方針

（3）その他

4. その他

- ・令和5年度以降のスケジュール等について、委員会の設置について

5. 閉会

■ 史跡耳取遺跡整備事業検討委員会 委員名簿

氏名	所属等
石川 日出志	明治大学文学部 教授
寺崎 裕助	新潟県考古学会 前会長
卜部 厚志	新潟大学災害・復興科学研究所 教授
小川 総一郎	信州大学学術研究院総合理工学研究科 特任教授
佐藤 繁一	NPO法人国際自然大学校 事務局長
宮島 裕	株式会社スノーピーク 地方創生室 マネージャー (一社)野遊びリーグ 常務理事 事務局長
齋藤 直樹	北谷北部コミュニティ
平井 忠栄	北谷南部コミュニティ

オブザーバー

渡邊 裕之	県観光文化スポーツ部文化課 副参事
-------	-------------------

事務局（教育総務課）

氏名	所属等
近藤 芳生	部長兼課長
湊屋 一樹	主幹兼課長補佐兼文化財係長
森澤 亜土	文化財係 主任
田中 真理	文化財係 主事（学芸員）

【報告】令和3年度事業報告・令和4年度事業進捗

令和3年度報告

(1) 事業の目的

国史跡耳取遺跡整備基本計画に基づいて、史跡整備や保存・活用について事業を進める。令和3年度は史跡整備の基礎資料とするための発掘調査と地形測量を実施した。

(2) 事業の概要

①史跡耳取遺跡へのアクセス道路建設に伴う埋蔵文化財調査

アクセス道路建設予定地内における遺跡の有無を確認するため、発掘調査（試掘・確認調査）を実施した。調査にあたっては考古学・埋蔵文化財発掘調査を専門とする委員2名および県担当者から現地で指導・助言を受けた。

調査目的: 耳取遺跡アクセス道路建設予定地内における岩沢遺跡の範囲を確認するため。

調査面積: 450 m²

調査時期: 令和3年9月16日～11月4日

調査指導: 石川委員、寺崎委員、新潟県渡邊副参事

試掘トレンチ: 11本／掘削の深さ: 1～2.5m

検出遺構: 溝3条、土坑2基、礫（集石）1基、盛土状遺構1基／出土遺物: なし

調査結果: 遺構からは時期を示す根拠となる遺物は出土しなかった。そのため、岩沢遺跡（縄文中期～弥生後期）の広がり判断できる遺構や遺物は確認されなかった。

②耳取遺跡史跡指定地内の無人航空機（UAV）レーザー地形測量

史跡整備の基礎資料として活用するため、指定地内の地形測量を実施した。

測量実施期間: 令和3年5月14日～令和4年3月18日

③「史跡耳取遺跡整備検討委員会」の設置

令和3年度から開始する具体的な史跡整備や保存・活用の方法について、指導・助言を仰ぐために委員8名とオブザーバー1名によって構成する「見附市耳取遺跡整備検討委員会」を設置した。しかし、新型コロナウイルス感染拡大等の諸事情により開催は中止。

④市民講座の実施

北谷公民館で市民講座『国史跡耳取遺跡と史跡整備 ～令和3年度最新情報～』を開催した。耳取遺跡の国指定史跡までの経緯や理由のほか、令和3年度の発掘調査について調査成果や文化財業務について解説した。

(3) 執行体制

事業主体：見附市教育委員会 教育長 渡邊茂夫
指導・助言：史跡耳取遺跡整備委員会・新潟県教育庁文化行政課
総括：教育総務課 課長 森澤 亜土
管理：教育総務課 課長補佐 湊屋 一樹
庶務：教育総務課 文化財係長 増田 一実
担当：教育総務課 文化財係 主事（学芸員） 田中 真理

令和4年度報告

(1) 事業の目的

令和2年度に策定した「国史跡耳取遺跡整備基本計画」に基づき、史跡整備事業の計画を進める。

(2) 補助事業の概要

①耳取遺跡の史跡境界標設置

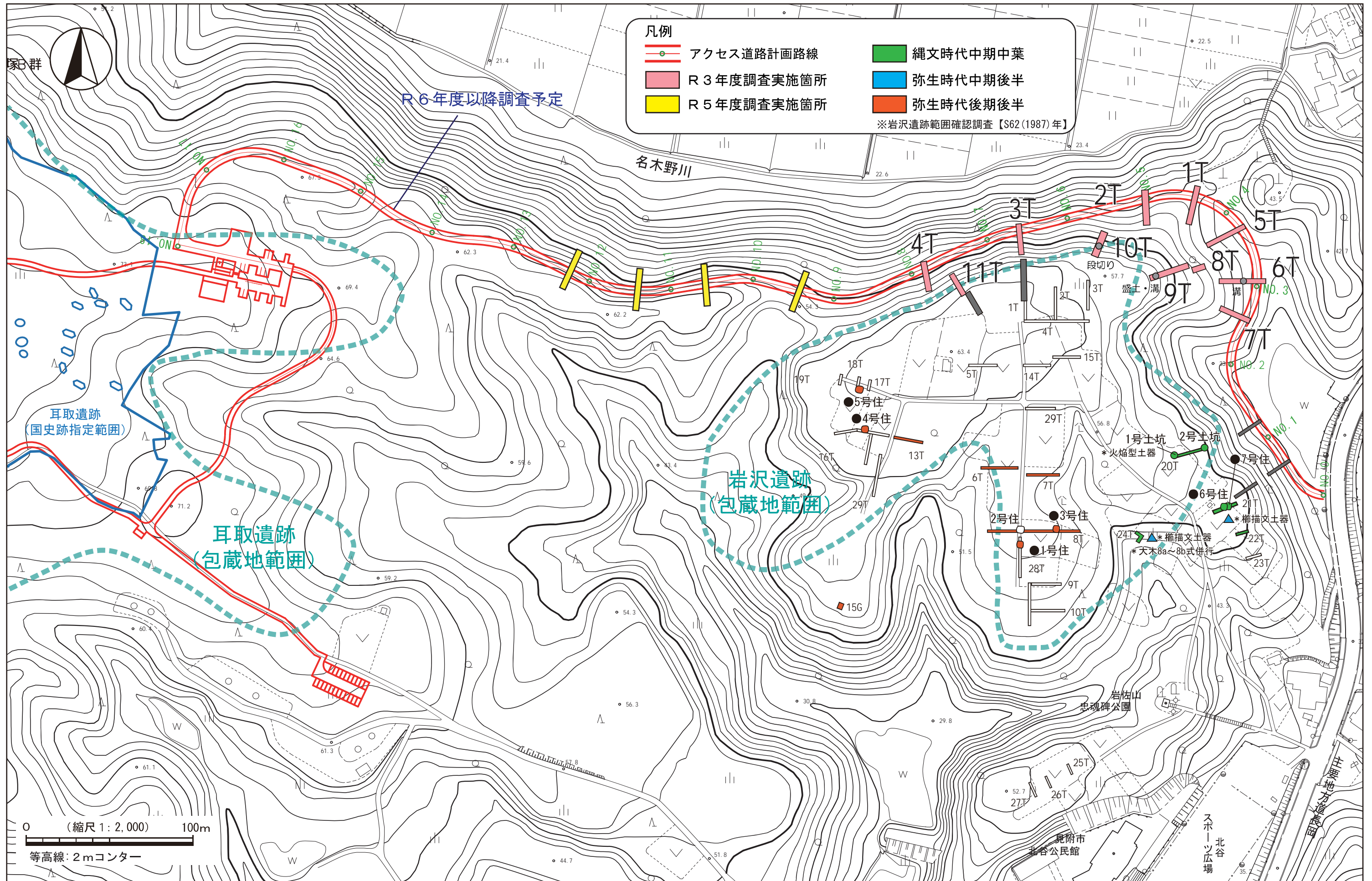
史跡指定地と指定地外の境界を明確にし、国史跡を適切に管理・保全するため、史跡境界標の設置を実施した。

②耳取遺跡整備検討委員会の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止等のため令和3年度は開催を見送った整備検討委員会を再開し、事業の進捗状況及び今後の史跡整備事業計画について指導・助言を仰ぐ。

(3) 執行体制

事業主体：見附市教育委員会 教育長 渡邊茂夫
指導・助言：史跡耳取遺跡整備検討委員会
オブザーバー：新潟県観光文化スポーツ部文化課副参事 渡邊 裕之
総括：教育総務課 課長 近藤 芳生
管理：教育総務課 主幹兼係長 湊屋 一樹
：教育総務課 文化財係 主任（再任用） 森澤 亜土
担当：教育総務課 文化財係 主事（学芸員） 田中 真理



史跡耳取遺跡 整備事業計画（ロードマップ）

資料2

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7～
国指定史跡 耳取遺跡 (経緯・経過)	国指定史跡へ登録		計画書の策定および刊行			史跡整備事業開始					
		範囲を追加指定									
保存活用計画策定委員会 整備基本計画策定委員会			保存活用 計画策定	→	整備基本 計画策定	→					
史跡耳取遺跡整備検討委員会							整備検討 委員会 1期	→	整備検討 委員会 2期	→	
史跡の維持・管理 (指定地内外の用地買収)		指定地の 用地買収	→	→	→		・指定地の用地買収 ・レーザー地形測量	・史跡指定地 境界標柱の設置	指定地の用地買収		
埋蔵文化財発掘調査 【開発行為】 (アクセス道路予定地)							・道路線測量 ・試掘確認調査 (9,000千円)		・試掘確認調査 (3,000千円)		
埋蔵文化財発掘調査 【現状変更／開発行為に伴う】 (復元時住居／管理棟・駐車場等)											
測量・用地測量・地質調査 基本設計・実施設計等											
史跡の活用・市民/県民への 普及・情報発信 (学校教育・生涯学習)							・市内小学生の見学 ・市民講座の開催 (市民55名参加)		・耳取遺跡ファンクラブ(仮)の育成 ・市民講座や勉強会の開催		

凡例

第三者委員会	維持・管理 用地買収	埋蔵 文化財	ハード事業	ソフト事業
--------	---------------	-----------	-------	-------

動線計画とガイダンス施設の概要

<史跡耳取遺跡へのアクセス>

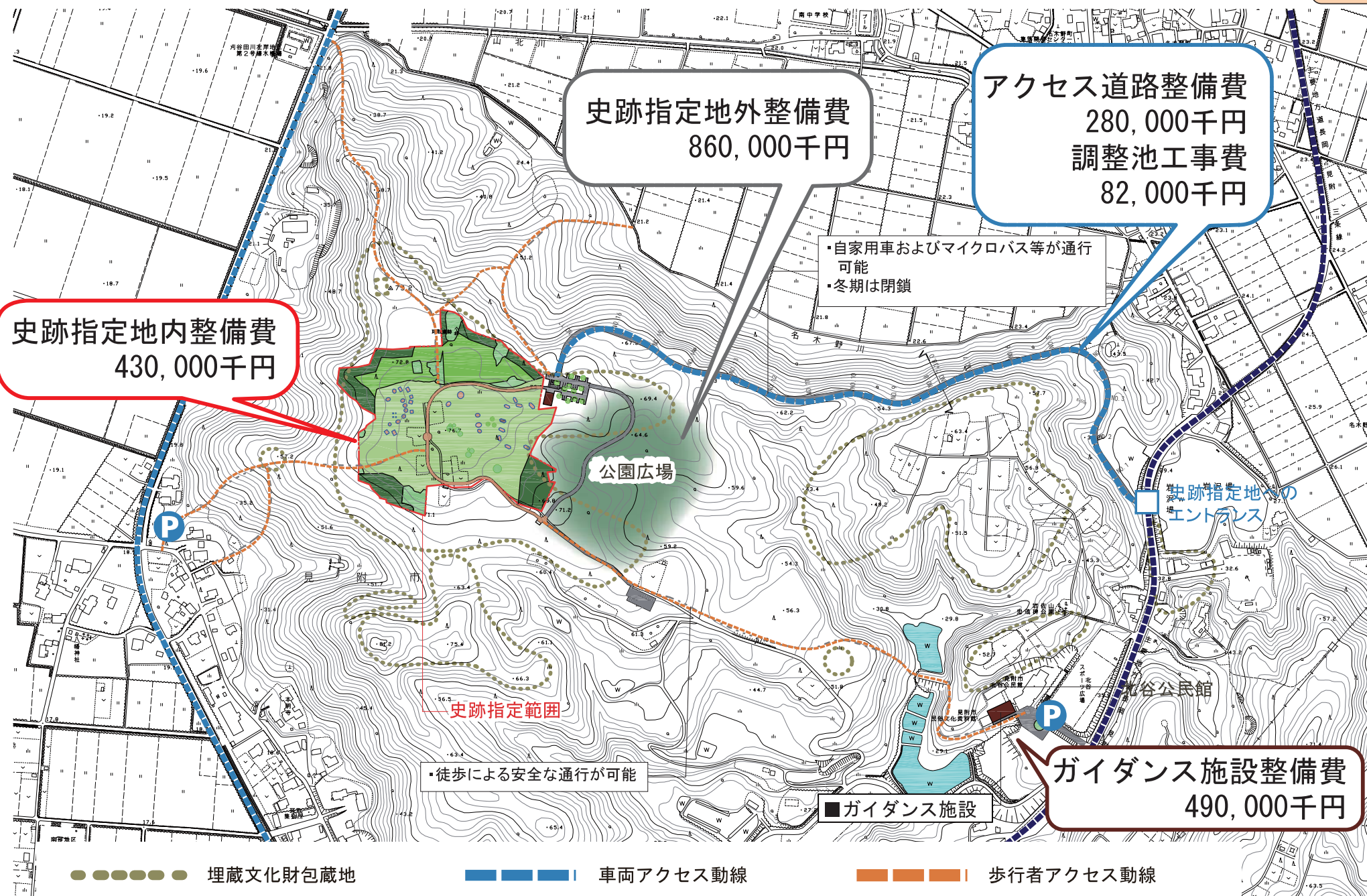
山頂の史跡指定地へは、耳取丘陵の北側を通るアクセスルートを整備し、そこから自動車で史跡指定地までアクセスできるようにします。

また、ガイダンス施設から徒歩で史跡指定地と往来できるよう、南側に歩行者用のアクセスルートを整備します。

<史跡耳取遺跡に関するガイダンス施設>

史跡指定地周辺は埋蔵文化財が多く点在していることから、北谷公民館の周辺に、これらの解説展示を行うガイダンス施設を設けます。

ガイダンス施設では、解説展示のほか、北谷公民館と連携し体験学習なども行います。

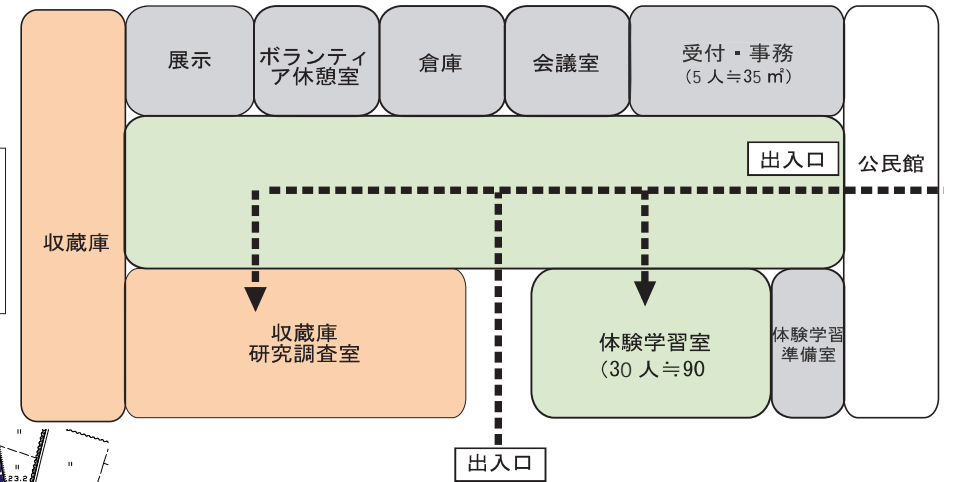


■ガイダンス施設【史跡指定地外】

■諸室レイアウト（案）

【凡例】

- 来訪者スペース
- 管理者スペース
- 収蔵スペース



■ガイダンス施設の機能

ガイダンス施設は耳取遺跡の概要や歴史をわかりやすく紹介するとともに、来訪者を遺跡へ誘導するための拠点となります。来訪者向けのスペースとして展示室と体験学習室を設けます。展示室では解説パネル、ビジュアル展示や遺物展示を行います。

体験学習室では、小中学校の歴史学習の場として、縄文時代の文化や暮らしを体験し学べる空間とします。また、隣接する北谷公民館の諸室を活用した体験プログラムも検討します。

管理者のスペースとしては、来訪者の受け入れに対応する受付・事務室をはじめ、展示・体験学習で使用される機材を収納する準備室やスタッフ、ボランティア用の会議室や休憩スペースを設けます。

■諸室一覧（案）

- 来訪者向けスペース（展示室、体験学習室、トイレ）
- 管理者スペース

（受付・事務室、会議室、倉庫、調査研究室、展示準備室、体験学習準備室、ボランティア休憩室）

整備事業概算費総額=2,124,300千円
※整備事業費概算：10,000千万以下切り上げ
埋蔵文化財調査費・用地買収に関する経費は含まない。

図面『国史跡耳取遺跡整備基本計画』P.55・84・92
『耳取遺跡整備基本計画 概要版』を編集。